

# まなびボックスプラス： CSVファイル取込エラー解消マニュアル

CSVファイルにおける「0落ち」および「指数表記」の回避手順

## はじめに：なぜエラーが起きるのか？

児童生徒IDなどの長い数字を含むCSVファイルをExcelでそのまま開くと、Excelの自動変換機能によってデータが書き換えられてしまうことがあります。

### 代表的なエラー事象

- **0落ち**：先頭の「0」が消えてしまう（例：0123 → 123）
- **指数表記**：長い数字が省略される（例：1.05201E+14）

※この状態で保存すると、データが壊れたままシステムに送信され、取り込みエラーとなります。

## 解決策①：Excelの基本設定を変更する（推奨）

最新のExcelを利用している場合、一度設定を行うだけで今後の自動変換を防ぐことができます。

手順 1	Excelを開き、左上の「ファイル」タブ > 左下の「オプション」を選択。
手順 2	左メニューから「データ」をクリックします。
手順 3	「自動データ変換」の項目内にある、以下のチェックをすべてオフにします。 <ul style="list-style-type: none"><li>• 先頭のゼロを削除して数値に変換する</li><li>• 最初の15桁の長い数値を保持し、科学的記数法で表示する</li><li>• 文字"E"を含む数字を科学的記数法に変換する</li></ul>
手順 4	「OK」で閉じ、再度CSVファイルをダウンロードして開きます。

IDが通常の数字として表示されていれば成功です！

## 解決策②：外部データ取り込み機能を使う（最終手段）

設定変更ができない場合や、より確実にやりたい場合の手順です。

手順 1	新しい空のExcelを開きます。
手順 2	「データ」タブ>「データの取得」>「ファイルから」>「テキストまたはCSVから」を選択。
手順 3	対象のCSVファイルを選択し、「インポート」をクリックします。
手順 4	プレビュー画面上部の「データ型検出」プルダウンを「データ型を検出しない」に変更します。
手順 5	右下の「読み込み」をクリックします。
手順 6	<b>【重要】</b> 読み込まれた表から「ID」などの必要な列をコピーし、本来の「取り込み用フォーマット」へ貼り付けて保存してください。その際、貼り付け先の列の書式設定が「文字列」になっていることを確認してください。
手順 7	保存したファイルをまなびボックスプラスで再度取り込んでください。

### お困りのときは

上記の手順でも解決しない場合、下記お問い合わせ窓口までご連絡ください。

<https://www.sing.co.jp/corp/contact/faculty/>